

消費者と田植え交流

一関市巖美町山谷地区で5月27日、生産者と生活クラブ生協岩手が田植え交流会を行いました。都”里夢米生産振興協議会の主催で毎年開かれ生活クラブ生協岩手の組合員や家族、関係機関約70人が参加。15畝の水田に「ひとめぼれ」の苗を手で植えた他、子どもたちが田植え機の乗車体験を行いました。佐々木守美会長は「この体験を機に農業に興味をもってもらい、次の世代へと受け継いでいってほしい」と期待を込めました。参加者からは「とてもいい経験になった」「稲刈りにも参加したい」などの声がたくさん聞かれました。田植え後は、一関市巖美市民センター山谷分館で地域で栽培されたお米を使ったおにぎりと農家特製のみそを使った豚汁を食べながら交流し親睦を深めました。秋には稲刈り交流会を行う予定です。



歓声を響かせ田植えを体験する参加者